

製品づくりから商品づくりを目指して —独自の技術力で未来を創造する—

株式会社長沢製作所

東京都板橋区成増1-31-10 ああいおい損保成増第一ビル6F
TEL 03-5383-1811

「住まいづくりの中の感性を大切にしたい」 という理念から出発

(株)長沢製作所は、大正5年、家具金物製造工場として埼玉県川越市で創業しました。小江戸とも呼ばれる川越市は、当時有数の桐ダンスの産地であり、そのダンス用金具類の製造に高い技術を発揮したことで、注目されるようになりました。戦後になると、同業他社に先駆けて機械化するなど、いち早く家内工業の域を脱し、洋家具金物メーカーとして事業を広げました。この間、培われた技術力をベースに“創造的な製品づくり”をモットーとし、時代のニーズを的確に捉える経営感覚で、次々にヒット商品を開発して来ました。

その後、住宅産業の隆盛に伴い、建築金物の製造に取り組むようになり、創業80周年を機に、本社工場を埼玉県川越市から比企郡嵐山町の花見台工業団地に移転しました。本社工場には、亜鉛ダイカスト製品の一貫生産ラインを保有し、鋳造、加工、鍍金、塗装、組み立てに至るまで、そのすべてが「Made in Japan」、目の届く所で責任ある物づくりを行なっています。



図1 嵐山本社工場

JR、金融機関、公共機関からの採用

主要製品として、機械式のキーレス錠「キーレックスシリーズ」、グラデーションの掛かった特殊な鍍金仕上げと複雑な唐草模様の彫りを特徴とするレトロ感溢れる「古代シリーズ」、住宅内装ドア用のハンドル「長沢スタンダードプロダクト」などがあり、これらを3本の柱としていま

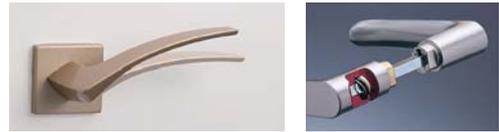


図2 ネクセスUDストローク

す。特に「キーレックスシリーズ」は、高いセキュリティが求められる公共機関での採用も多く、海外市場にもコンスタントに輸出されています。

また、都産技研の相談事業とのコラボレーションでコンセプトメイキングされた「ネクセスUDストローク」は、ユニバーサルな視点でデザインされ、その機能性が高く評価され、グッドデザイン賞を受賞しています。さらに、都産技研のエンジニアリングアドバイザー制度を利用し外部のプロダクトデザイナーとのコラボレーションに依り、金属製品の新たな可能性を探りながら開発された新商品「キーレックス4000」が今夏発売されることになり、次世代を担う製品として大いに期待されています。

環境に配慮した素早い取組

鍍金などのコーティング処理過程の中で、六価クロムは優れた防錆剤として長く使われてきましたが、近年、人体への悪影響が指摘され、欧州などでは厳しく制限が課せられるようになったことなどを受け、いち早くクロムフリーに取り組みました。防錆処理を塗装によるプライマー処理に変更するなどによって、人と地球環境にやさしいクロムフリー商品の開発に積極的に取り組んでいます。

エンドユーザーの視点からのものづくり

(株)長沢製作所は、環境の保全とより快適な住空間の実現を目指し、独自の技術力を活かしながら、エンドユーザーにとって安全で使い易く、品格のあるオリジナル商品を作り続けて行くことで、社会に貢献したいと考えているそうです。

開発本部開発第一部

デザイングループ <西が丘本部>

薬師寺千尋 TEL 03-3909-2151 内線590

E-mail : yakushiji.chihiro@iri-tokyo.jp